



パトロネージュ・システム Q&A 第3回

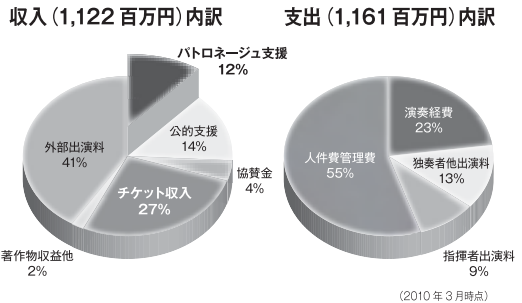
“パトロネージュ・システム” —これこそ、新日本フィルを陰で支える重要な仕組み。前号では「パトロネージュ室」でどのように支援者の方々を増やしているのか、その様子をお伝えしました。

オーケストラの懐事情は ……

Q：いただいた寄付金、支援金はどのように使われているのですか？

A：楽団を運営するには色々な費用が発生します。演奏会を開催し、皆様に音楽をお届けするにあたってはまず、①演奏会開催のための資金、例えば「指揮者やソリストへの出演料」「チラシやウェブの広告宣伝物制作料」「ホール使用料」が必要です。また、②オーケストラという団体組織の人件費管理費も必要です。会社の日々の活動にいろいろな費用が発生するのと同じでしょうか。だから、いただいた寄付はまさに日々楽団が生きていくための血液として欠かせません。

さて、オーケストラの収入・支出の構成内訳をご覧ください。



Q：演奏会によるチケット収入の割合が、想像していたより少ないですね？

A：自主運営のオーケストラである以上、あるべき理想の姿は、私たちが企画した演奏会チケットの売上、また全国のホール等から出演依頼を受けた演奏会から得る出演料など、自分たちで稼ぐお金で全てを補うことです。しかし、それだけではとても賄っていないのが現状です。新日本フィルはすみだトリフォニーホールという墨田区のホールにフランチャイズしているため、練習も本番も同じ場所で行えるという非常に恵まれた環境下にあります。しかし一方で、楽団員の給料は決して高いものではなく、そういった待遇改善も大きな課題です。収入増大のためには、寄付金の割合を増やすことよりも、チケットの売上、演奏会への出演料など全ての項目で金額を増やし、使えるお金自体を増やさなければならないのが正直なところです。

もちろん今の時代、活動内容や規模を見直して支出金額を適正なものにすることも重要な要素です。しかし、お客様により満足し音楽を楽しんでいただくためには芸術的なクオリティや演奏水準を向上させることも大切であり、企画に投資する金額をそう簡単に減らすことはできない、ここが運営の難しいところです。

★パトロネージュの活動報告“アニュアルレポート”もご覧ください。次号もお楽しみに。